

はじめに

行方市では、平成28年3月に「行方市環境基本計画」を策定し、郷土の豊かな自然を守り、これらの環境をより良い形で次の世代へ引き継いでいくため、市民や事業者が積極的に環境活動に参画する仕組みを実践しながら各種施策を進めてまいりました。

現在、計画期間の半ばが過ぎましたが、昨今の環境問題は策定当初よりも深刻化しており、とりわけ、地球温暖化による気候変動は、猛暑や豪雨といった自然災害の形で私たちの生活に影響を及ぼしています。

また、国では、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにする「カーボンニュートラル」を目指しており、今後はこうした社会情勢や地球規模の課題に的確に対応しながら、環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築していかなければなりません。

そこで、このたび本市では、市民や事業者が取り組んでいる環境に配慮した活動、環境保全活動への取り組みなどの動向を踏まえ、本計画に掲げる取り組みの成果と課題を総点検するとともに、新たにSDGs(持続可能な開発目標)や気候変動適応法に対応した取り組みを加え、より時代に即応した実効性のある施策を推進するため、本計画の見直しを行いました。

見直しに当たっては、引き続き市民、事業者、地域、行政などあらゆる主体が協働しながら「自分事」として環境施策に取り組んでいく必要があることから、市民や事業所、環境保全団体などで構成された「行方市環境基本計画策定委員会」や「行方市環境審議会」で協議を重ねたほか、パブリックコメントなどを通じて、より多くの方々の意見を反映させました。

今後は、環境将来像である「湖と緑とやすらぎを守り育てるまち なめがた」の実現に向け、これまで以上に本計画に掲げる施策を総合的かつ計画的に実施してまいりますので、皆さまのご理解と積極的なご参画をお願い申し上げます。

結びに、本計画の見直しに当たり、多大なご協力をいただきました「行方市環境審議会」、「行方市環境基本計画策定委員会」の皆さまをはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました市民、関係者の皆さまに心より深く感謝を申し上げます。



令和4年3月

行方市長 鈴木 周也